

平成29年度定時評議員会議事録概要

平成29年5月25日午前10時30分、教育会館2階中会議室において、定時評議員会を開催した。

出席評議員 8人（評議員総数10人）

飯田正明、柏手茂、加藤宏、首藤幸子、行川一郎、西山慈恩、平野恵美子、
福澤正人

出席理事 6人（理事総数7人）

石田有信、岩崎由紀子、杉山鎮夫、鈴木喜明、田中國義、丸山孜

出席監事 岩崎和子

議事録作成者 評議員会会長 福澤正人

定刻になったので司会者総務施設課長は開会を宣し、本日の定時評議員会は評議員10人中8人、理事及び監事の出席を得ているので有効に成立した旨を告げ、評議員会運営規程第8条第1項により福澤正人評議員会会長が議長となり議案の審議に入った。

議長は、本日の議題は、議案として「認第1号平成28年度事業報告書及び決算書の承認」、「議案第1号平成29年度収支補正予算及び資金収支補正予算（第1号）」、「議案第2号監事の選任」の3案件と報告事項として「新事務所建設の進捗状況」である旨を告げ審議に入った。

認第1号平成28年度事業報告書及び決算書の承認

議長は、認第1号平成28年度事業報告書及び決算書の承認について理事長に説明を求めた。理事長は、認第1号別紙により平成28年度の事業報告並びに貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録等の内容を説明し、監事は、適正に処理しているとの監査報告をした。評議員から事業収益が前年度に比べ減少している理由、公益目的事業が黒字となった場合の措置、遊休財産の保有制限等について質問が出された。理事長は、事業収益の減少については、囲碁まつりが平成27年度は記念事業であったが平成28年度は平年事業となったため市からの受託料が少なくなったことや市からの運営費補助金等が市の厳しい財政状況から減額されたこと、駅西口第2駐輪場の自転車駐輪種別の定期を廃止し、全て一時利用とし、かつ、2時間無料となったことなどが主な要因であること。公益目的事業が黒字となった場合は、その黒字を翌年度の公益目的事業の拡充

の費用に充当するなどの措置をとる必要があること、具体的に使途が定まっていない遊休財産については、法令により1年分の公益目的事業費用の相当額を超えることができないと制約されていることなどを説明した。議長が諮ったところ、認第1号平成28年度事業報告書・決算書について、出席評議員全員一致で原案を承認した。

議案第1号平成29年度収支補正予算及び資金収支補正予算（第1号）

議長は、議案第1号平成29年度収支補正予算及び資金収支補正予算（第1号）について理事長に説明を求めた。理事長は、議案第1号平成29年度収支補正予算及び資金収支補正予算（第1号）について、補正理由を平成28年度決算により繰越金が確定したことに伴い予備費を補正するとし、議案第1号別紙と資料によりその内容を説明した。議長が諮ったところ、議案第1号平成29年度収支補正予算及び資金収支補正予算（第1号）について、出席評議員全員一致で原案を可決決定した。

議案第2号監事の選任

議長は、理事長に議案第2号監事の選任について説明を求めた。理事長は、大曾根俊久監事及び岩崎和子監事が本日の定時評議員会の終結をもって辞任することとなったので、定款第22条に基づき後任の監事の選任が必要であるとし、その選任方法として議案第2号により監事の候補者の氏名、住所、生年月日を説明するとともに、候補者の経歴、兼業状況等を説明した。議長が候補者ごとに賛否を諮ったところそれぞれ出席評議員全員一致の賛成により次の者を監事に選任した。

監事 長谷川進

監事 間宮芳夫

新事務所建設の進捗状況

議長は、理事長に新事務所建設の進捗状況について説明を求めた。理事長は、新事務所建設について前回の評議員会で報告した工程表に沿って順調に進んでおり、7月15日頃に建物の引渡しを受け、その後引越しを予定し、8月初旬に新事務所での業務を行う予定と報告した。

以上をもって議案の審議を終了したので、議長は閉会を宣し午前11時40分閉会した。